

さちの森

第21号 2018.1.10

編集・発行者
社会福祉法人那須四季会

〒325-0014

栃木県那須塩原市野間453番地23

TEL 0287-60-1331

FAX 0287-64-4300

URL <http://sachinomori.jp>



さちの森園庭から見上げる冬晴れの空

地域共生社会の中心にあるもの

社会福祉法人那須四季会
理事長 深町 彰

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、昨年中は当法人の運営に温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

平成30年度は6年に一度の医療と介護の同時改定の年となります。医療と介護の連携をより強固なものとし、引き続き地域包括ケアシステムの構築を推進していくことが社会保障審議会の審議報告により示されています。また、今回の改定では地域共生社会の実現に向けて介護保険と障害福祉の両機能を備えた共生型サービスが創設されることとなります。これらは制度、サービス、集団の垣根を超えて、その人の生活圏域に根差した協働体制を地域全体で確立することと理解しております。そして、その中心で地域共生社会を支えるものこそ「人」であると考えています。

しかし世の中は極めて深刻な人手不足であり、我々も介護の担い手を確保することは喫緊の課題となっております。その中でさちの森では、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。介護業界に限らず、職員が安心して長く働ける職場環境であることが、質の高いサービスを提供するための源流になると信じているからです。地域共生社会の一員としての自覚を新たにし、さちの森の理念である「優しさの介護」の旗の下、ご利用者様に質の高い介護を提供するために、職員一同努力する所存でございます。

皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

変わらなければいけないもの、

変わってはいけないもの

社会福祉法人那須四季会
さちの森施設長 國分 昭栄

私達にとって介護ロボットが身近なものとなってきております。今日、日本の産業界全体が人手不足に陥っており、24時間営業のコンビニエンスストアが夜間の営業を取りやめたり全国チェーンの飲食店が一部の店を閉店するなど、人手不足は各方面で様々な影響を与えております。これらの一番の要因は少子高齢化の進展です。福祉の業界も例外ではありません。こうした流れが介護ロボットの実用化に向けた動きを活発にしております。

介護の現場でも家庭の介護でも、介護は介助者の身体的負担が大きくなることから、今後介護ロボットの実用化により介護負担が軽減され人手不足の介護現場で介護サポートを行ってゆとりのある介護を実現する事が大いに期待されております。

ただ、介護は「サービス業」と言われるとおり要介護者への気遣いが大切な仕事です。要介護者と心で向き合い、心の奥深いところに寄り添うことで要介護者の安心と信頼が醸成されるものだと思います。

私達は「優しさの介護」をスローガンに事業を行っています。世の中には変わらなければいけないものと変わってはいけないものがあると思います。科学が発展し時代が変化すれば提供するサービスの手法も変化させなければなりません。基本コンセプト「優しさの介護」のもと、要介護者と心で向き合うスタンスは変わることなく、ブレることなくあり続けたいと考えております。そのために我々は自らをイノベーションし、仕事力だけの成長を目指すのではなく、人間力の向上も同時に行い、バランスのとれた人材育成を心がけたいと思います。

任期満了に伴う役員・評議員の改選

理事	長	深	町	彰	評	議	員	芳	賀	茂	身
理事	事	深	町	代	評	議	員	渡	邊	克	久
理事	事	大	野	勝	評	議	員	蓮	實	一	男
理事	事	坂	本	子	評	議	員	大	野	貞	賢
常務	事	佐	藤	一	評	議	員	秋	間	し	げ
監	事	國	分	栄	評	議	員			げ	子
監	事	木	下	夫							
	事	木	村	守							

任期：平成29年6月13日～平成30会計年度の最終のものに関する定時評議員会の締結の時

任期：平成29年4月1日～平成32会計年度の最終のものに関する定時評議員会の締結の時

平成28年度事業報告

基本理念

* 優しさの介護を提供します

基本方針

* 家族を入所（利用）させたいと思う施設づくり
 * 自分が介護が必要になった時は是非利用したいと思う施設づくり

標語

* 情報の正確な把握 的確な判断 迅速な行動

特別養護老人ホーム（定員50名）

* 延べ利用者数： 17,939名
 * 日平均入居者数： 49.1名
 * 入居者平均年齢（平成29年3月31日現在）
 84.6歳（男79.4歳 女86.4歳）
 最高年齢 100歳 最低年齢 55歳
 * 平均介護度： 4.08（男3.85 女4.17）
 * 退所者数： 13名（死亡11名、病院・他施設等2名）

ショートステイ（定員10名）

* 延べ利用者数： 2,983名
 * 1日平均利用者数： 8.2名
 * 利用者平均年齢（平成29年3月31日現在）
 86.3歳（男92.0歳 女83.5歳）
 最高年齢 103歳 最低年齢 75歳

デイサービスセンター（定員25名）

* 延べ利用者数： 5,257名
 * 1日平均利用者数： 18.9名
 * 利用者平均年齢（平成29年3月31日現在）
 85.6歳（男86.9歳 女85.2歳）
 最高年齢 103歳 最低年齢 70歳

平成28年度決算報告

◆ 資金収支計算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

勘定科目		合計	
事業活動による収支	収入		
	介護保険事業収入	339,378,699	
	経常経費寄附金収入	78,000	
	受取利息配当金収入	606	
	その他の収入	1,487,418	
	事業活動収入計(1)	340,944,723	
	支出		
	人件費支出	227,032,379	
	事業費支出	48,913,813	
	事務費支出	36,723,902	
利用者負担軽減額	1,556,633		
支払利息支出	4,193,000		
その他の支出	10,389		
事業活動支出計(2)	318,430,116		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	22,514,607		
施設整備等による収支	収入		
	施設整備等収入計(4)	0	
	支出		
	設備資金借入金元金償還支出	25,740,000	
	固定資産取得支出	1,069,040	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,820,340	
	施設整備等支出計(5)	28,629,380	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 28,629,380	
	その他の活動による収支	収入	
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0
積立資産取崩収入		0	
その他の活動収入計(7)		0	
支出			
長期運営資金借入金元金償還支出		0	
積立金資産支出		0	
その他の活動支出計(8)		0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		0	
予備費(10)		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲ 6,114,773		
前期末支払資金残高(12)	101,739,693		
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	95,624,920		

◆ 事業活動計算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

勘定科目		合計	
サービス活動増減の部	収益		
	介護保険事業収益	339,378,699	
	経常経費寄附金収益	78,000	
	サービス活動収益計(1)	339,456,699	
	費用		
	人件費	230,183,679	
	事業費	48,913,813	
	事務費	36,723,902	
	利用者負担軽減額	1,556,633	
	減価償却費	23,563,913	
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 5,784,229		
サービス活動費用計(2)	335,157,711		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,298,988		
サービス活動外増減の部	収益		
	受取利息配当金収益	606	
	その他のサービス活動外収益	1,487,418	
	サービス活動外収益計(4)	1,488,024	
	費用		
	支払利息	4,193,000	
	その他のサービス活動外費用	10,389	
	サービス活動外費用計(5)	4,203,389	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	▲ 2,715,365	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,583,623	
特別増減の部	収益		
	特別収益計(8)	0	
	費用		
	固定資産売却損・処分損	21,768	
	特別費用計(9)	21,768	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲ 21,768	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,561,855	
	繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	145,302,802
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	146,864,657
		基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)		0	
その他の積立金積立額(16)		0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		146,864,657	

◆ 貸借対照表（平成29年3月31日現在）

資産の部		当年度末
勘定科目		
流動資産		107,162,006
固定資産		571,629,129
基本財産		503,947,318
その他の固定資産		67,681,811
資産の部合計		678,791,135

負債の部		当年度末
勘定科目		
流動負債		39,232,654
固定負債		230,497,792
負債の部合計		269,730,446
純資産の部		
基本金		88,510,000
国庫補助金等特別積立金		173,686,032
次期繰越活動増減差額		146,864,657
(当期繰越活動増減差額)		1,561,855
(前期繰越活動増減差額)		145,302,802
純資産の部合計		409,060,689
負債及び純資産の部合計		678,791,135

さちの森



SPRING



解体ショー



烏ヶ森公園お花見

SUMMER



流しそうめん



納涼祭

AUTUMN



敬老会



新蕎麦祭り

WINTER



クリスマス会



新年会



さちの森新年の抱負



「福祉は人なり」という言葉があります。我々はひとりの人として福祉・介護の仕事に携わり、利用者・家族・地域住民・同僚などあらゆる人とのつながりの中にいます。人と向き合ううえで、心構えを新年の抱負に代えて、さちの森各部門からご紹介いたします。

すずらんユニット

「誠実」

明るく楽しい雰囲気の中で利用者様一人ひとりと誠実に向き合っていきます。



すいせんユニット

「自分らしく」

それぞれの意見を尊重しながら、みんなの思いをひとつに調和を保てるように、楽しい雰囲気をつくっていきます。



ひまわりユニット

「安心」

利用者様に安心して生活を送っていただきたい。その思いを胸に、心をひとつに、まさに一致団結して支援していきます。



なでしこユニット 「楽」

利用者様もご家族様も職員も楽しく
過ごせる生活環境をつかっていきます。



こすもすユニット 「目線」

相手の心をより深く理解できるように、
利用者様の立場にたって物事を進めて
いけるようにしていきます。



医務室

「健康の維持」

みんなが心も体も健康であり、笑顔で
健やかな日々を送れるよう支えています。



事務室

「あいさつ」

みなさんが、安心してさちの森に來ら
れるように、そして温かい気持ちでお
帰りのいただけるように、心のこもった挨拶
を心掛けます。



ショートステイさちの森 さざんかユニット

「あふれる笑顔」

利用者・職員みんなが心交わせる場所をつくり、みんながいつも笑い合い楽しむユニットにしています。



デイサービスセンターさちの森

「安全」

常に笑顔と優しさを心がけ、利用者様が「さちの森は第二の家だ」と安心・安全に過ごして頂けるサービスを提供して参ります。



地域包括支援センターさちの森 居宅介護支援事業所さちの森

「信頼」

「さちの森なら安心だ」と思っただけのように、地域の皆様から信頼される事業所を目指しています。



おまけ ～ 厚生事業活動風景 ～

山岳同好会

5月に那須前岳に登った時の写真です。最高の天気の中登り進めていましたが、山頂はとんでもない強風で、途中で断念しました。登った時の達成感もさることながら、断念した時の「次こそは！」の気持ちも、また我々を山に駆り立てます。

「チャレンジ」、それが山岳同好会の抱負です。



ボランティア募集のお知らせ

さちの森では、「利用者の皆様に潤いある生活を送っていただきたい！」という志にご共感いただきましたたくさんのボランティアの方にご協力いただいております。

ボランティア 紹介



音楽療法伴奏



書道教室講師



理髪ボランティア



似顔絵ボランティア



傾聴ボランティア

ボランティアとして皆様のお力添えをいただきたくここにご案内させていただきます。
例えば1回1時間など、日々少しずつ、皆様のご協力を賜れましたら幸いでございます。
お問い合わせはさちの森総務課(電話 60-1331)までご連絡ください。



洗濯

(1回1時間)



見守り

(1回1時間)



ベッドメイキング

(1回30分)



食器洗い

(1回30分)

編集後記

地域共生社会の実現に向けて、「人」をテーマに新年の抱負を掲載しました。そして、ボランティア紹介を通じて、皆様に支えられて今のさちの森があるのだ、という思いに、一同感謝しております。

これからも広報誌を通して皆様にさちの森の様子をお伝えしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。